保管用

TOSHIBA

東芝誘導灯(避難口･通路兼用)(電池内蔵)取扱説明書

(001E573)B

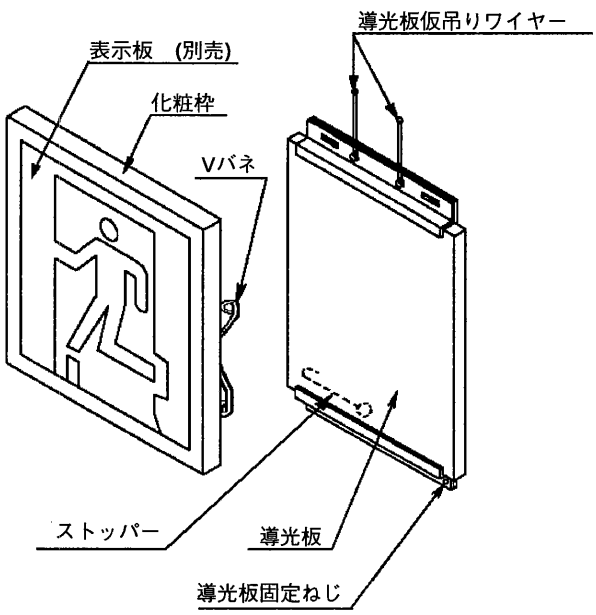
対象器具	A級(40形)　：　FBK-44370-PS
適合ランプ	東芝冷陰極ランプ　：　CF220T4ENL

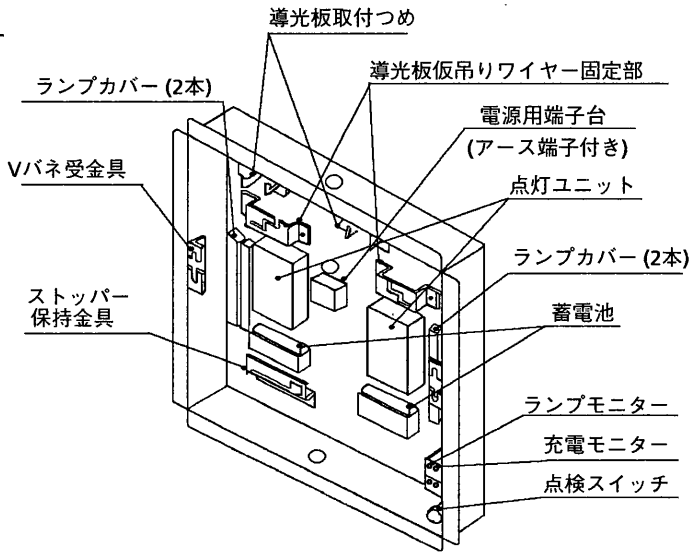
このたびは東芝誘導灯をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ
- この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
  一般の方の工事は法律で禁じられております。

工事店様へ
- 工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■各部のなまえ





東芝誘導灯点検カード

点検責任者

設置　　年　　月　　日　　設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	

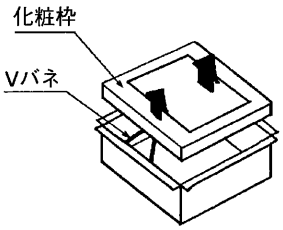
切り取って必ず保存してください。

● 保守と点検方法
1. 光源、本体などの外観の汚れを確認してください。
2. 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
3. 充電モニターが消灯しているときは、蓄電池は充電されていません。
   不点の原因を確認のうえ処理してください。
4. 非常点灯の性能をチェックするときは一昼夜以上通電し、十分充電したのち、平常電源をしゃ断して非常点灯に切り替えてください。20分経過後、非常点灯しているかどうか再び確認してください。
5. 充電モニターが点灯していないときおよび非常点灯が20分持続しないときは、確認のうえ、適切な処理をしてください。
6. ランプモニターが点滅するとランプのお取り替え時期です。
7. ランプモニターが点灯するとランプコネクタのはずれ、破損などの異常状態です。
8. ランプ交換後、電源を通電し、必ずリセットスイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。
   (注)リセットスイッチは2秒以上押してください。
   (注)ランプ交換時以外には、リセットスイッチを押さないでください。

・モニターランプの表示内容についてはモニターランプ表示内容を参照してください。

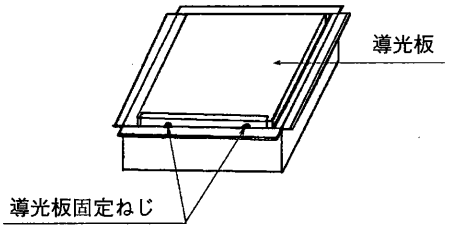
■器具の取付方法

1 ①Vバネを2ヵ所つぼめて化粧枠を引上げ、化粧枠を外してください。(図1)

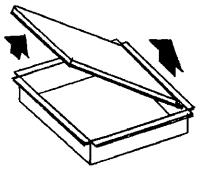


(図1)

2 ①導光板固定ねじを2ヵ所ゆるめ、導光板を外してください。(図2、3)
導光板表面は汚れが付きやすいため、付属のポリ手袋を使用してください。

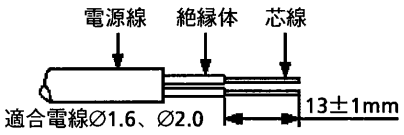


(図2)



(図3)

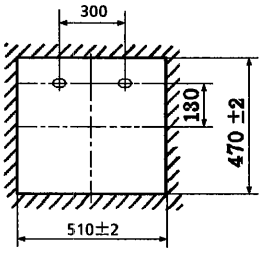
3 ①電源線の先端をストリップしてください。
電源線のストリップは(図4)のようにストリップしてください。



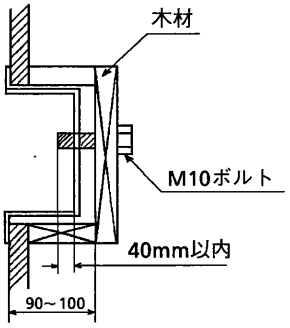
(図4)

4 ①中空壁の場合(建材で構成されている場合)
①－1 壁にあらかじめ指定の寸法で埋込穴をあけ、その周りに野縁を組み込んでください。(図5)また壁面から90~100mmの深さの指定位置に取付用ボルト(M10.2本)を立ててください。(図6)
この時、器具内のボルト寸法は40mm以内になるようにしてください。
①－2 背面または上部または下部の使用する取付穴に付属のブッシングをはめ込んでください。
①－3 器具内に電源線、アース線を引き込み、ボルトで器具を取り付けてください。(図7)
取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
②取付ボックスを使用する場合
②－1 専用の取付ボックス(別売)を使用し、ボックス内に表示されている矢印の方向が上側になるように埋込穴に取付けてください。
- 適合取付ボックス: BOX-44370

②－2 背面または上部または下部の使用する取付穴に付属のブッシングをはめ込んでください。
②－3 器具内に電源線、アース線を引き込み、ボルトで器具を取り付けてください。(図7)取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
注) ボルトの器具内寸法(図8のA寸法)は40mmを越えないようにしてください。

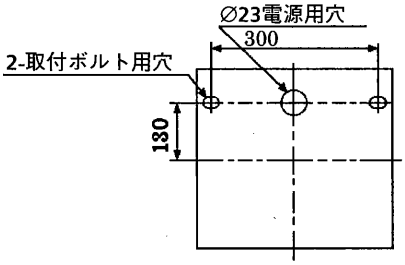


(図5)

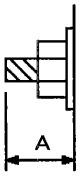


(図6)

※背面取付図



(図7)



ボルト器具内寸法

(図8)

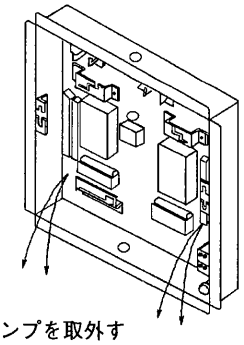
■器具の取付方法

5

①電源線を電源用端子台に接続してください。
②アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。取り付けに不備がありますと感電、火災の原因となります。
注)電源線･アース線を接続後、余分な電線は電源穴から押し戻してください。

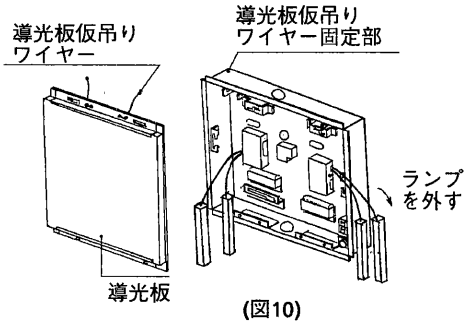
6

①器具本体からランプカバーを取り外してください。(図9)
(ランプはランプカバーに装着されています。)

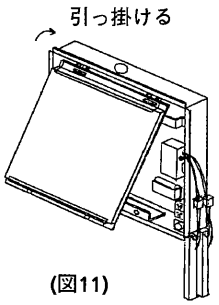


(図9)

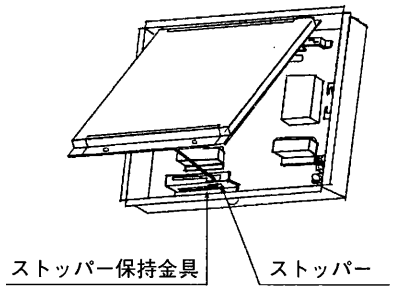
②導光板仮吊りワイヤーをワイヤー固定部にかけた後、導光板を本体の導光板取付つめにかけ、ストッパーをストッパー保持金具に差込み、仮固定してください。(図10、図11、図12)



(図10)

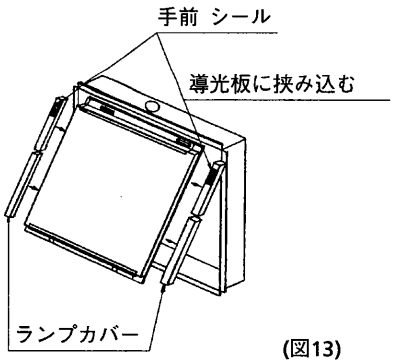


(図11)

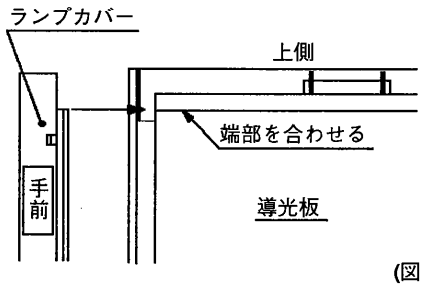


(図12)

③ランプカバー左右2個ずつ計4個を、カバーに表示してある「手前」シールが前面側に向くように取り付けてください。
その際、ランプカバー内部の反射板端部を導光板端部に合わせ、反射板で導光板を挟み込むように取り付けてください。
(図13、図14)



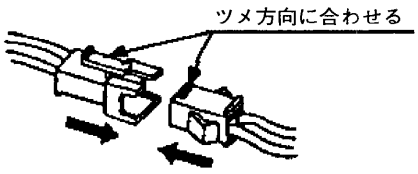
(図13)



(図14)

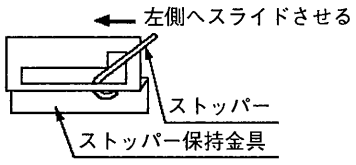
7

①電源通電後、蓄電池のコネクタを確実に接続してください。(図15)

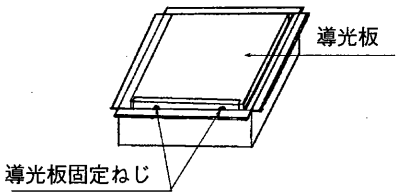


(図15)

8 ①ランプリード線をはさみ込まないように注意し、導光板を手前に引き、ストッパーをストッパー保持金具に沿って左側へスライドさせ導光板をゆっくり閉めてください。その後、固定ねじ2ヵ所で固定してください。(図16、図17))

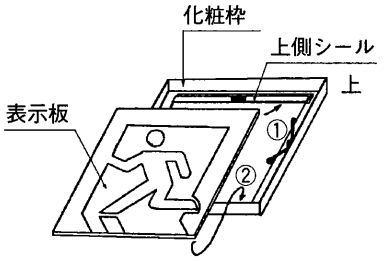


(図16)



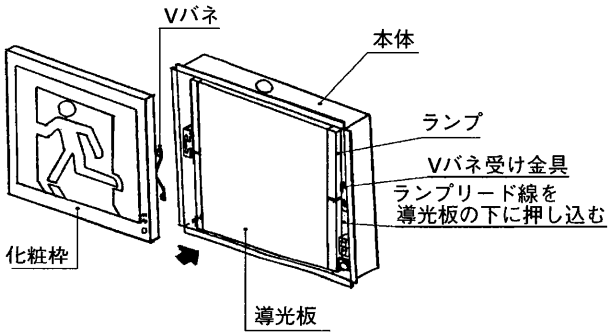
(図17)

9 ①化粧枠の上下方向を確認し、適合する表示板(別売)を化粧枠にはめ込んでください。この時、上部を先に差し込み、その後下部を落とし込んでください。(図18)



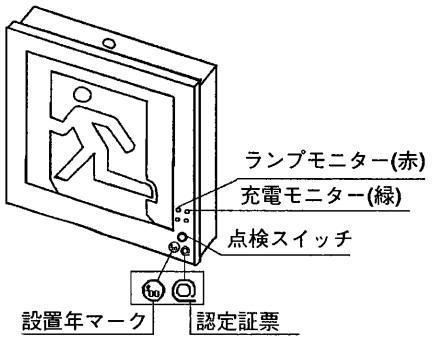
(図18)

10 ①ランプリード線をはさみ込まないように注意し、ランプリード線を導光板の後ろ側に押し込んだ後、化粧枠を本体にVバネ(2ヵ所)で取り付けてください。(図19)



(図19)

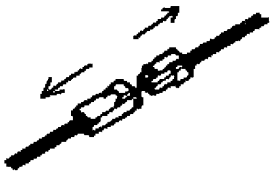
11 ①付属の設置年マークを認定証票付近に貼ってください。
②取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか保守と点検方法をご参照のうえ、充電モニターが点灯し、ランプモニターが消灯していることを確認し、点検スイッチを押して非常点灯の確認をしてください。(図20)



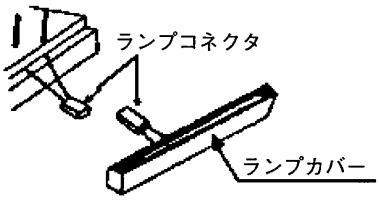
(図20)

■ランプの取りはずし方法

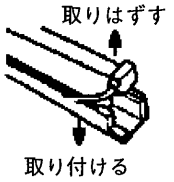
①Vバネを2ヵ所外し、化粧枠を本体から外してください。(図1)
②導光板押さえねじを外し、導光板を持ち上げ、ストッパーで仮固定してください。(図12)
③蓄電池のコネクタを外し、電源を切ってください。(図21)
④導光板からランプカバーを外し、ランプコネクターを外してください。(4本)(図22)
⑤ランプの端のリード線を持ってランプをランプカバーからはずしてください。(図23)



(図21)



(図22)



(図23)

■ランプの取付方法

①ランプをランプカバーに取りつけてください。(図23)
その際、ランプカバーの黒マーキング側が、ピンク色のランプリード線側となるように取り付けてください。

②ランプリード線をリード線押さえに掛けてください。

③ランプカバーを取り付けてください･･･ 器具の取付方法 6 の③

④ランプのコネクタを確実に接続してください。

⑤電源通電後、蓄電池のコネクタを確実に接続してください。(図15)

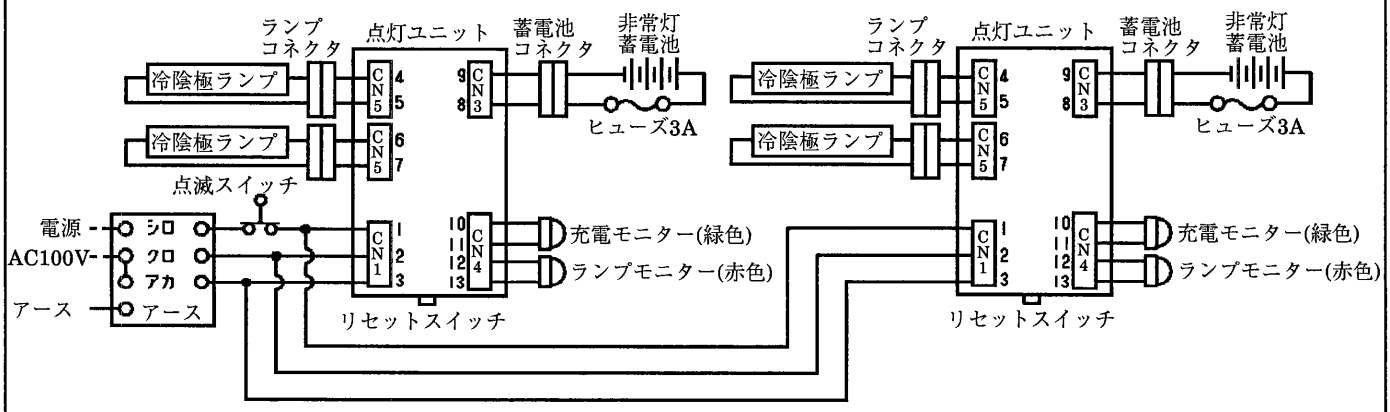
⑥点灯ユニットに付いているリセットスイッチを必ず2秒以上押してください。(2個)(赤色のランプモニターが消灯しているか確認してください。)

⑦導光板を取付けてください･･･ 器具の取付方法 8

⑧化粧枠を取付けてください･･･ 器具の取付方法 10

⑨取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか保守と点検方法をご参照のうえ、充電モニターの点灯確認と点検スイッチを押して非常点灯の確認をしてください。(図20)

■配線方法



① 器具の配線は図のように結線してください。電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。

② 配線方法は原則として2線引配線です。3線引配線を行う場合には、所轄の消防局(庁)の了解を得てください。

③ 3線引配線を行う場合には、端子台に接続してある短絡線をあらかじめ取りはずして結線してください。

④ 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。

不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。 アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

リリースボタン以外をドライバーで押さないでください。 感電の原因となります。

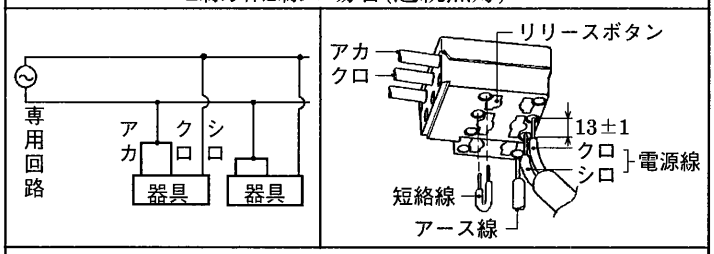
⑤ 蓄電池の放電を防ぐためにコネクタをはずしてありますので、ご使用の際には電源通電後、コネクタを差し込んでください。

⑥ 信号設置、煙感知器、他の誘導灯からの信号線は、専用の信号端子台に接続してください。

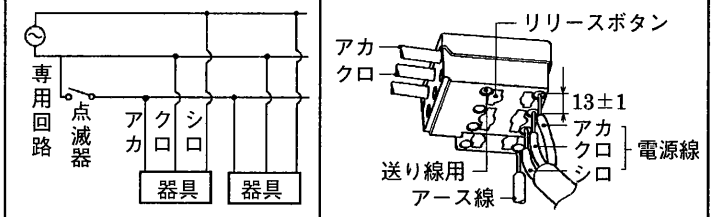
⑦ 信号端子台には、端子台カバー(付属品)を必ず取付けてください。

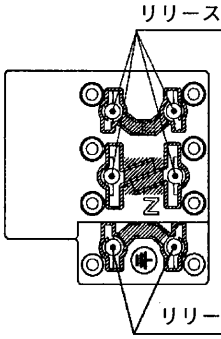
⑧ 誘導音の動作確認において、鳴動の反響などにより聞き苦しい場合は、誘導音ユニットについている音量調整ボリュームをドライバーで調整してください。

2線引配線の場合(連続点灯)



3線引配線の場合(平常時の点滅操作)





▨部分を押さないでください。
また、リリースボタン周囲のすきまには、マイナスドライバーを差し込まないでください。

■モニターランプ表示内容

[正常状態]

ランプモニター(アカ)	消　灯
充電モニター(ミドリ)	点　灯

[異常状態]

	モニターランプ点灯状態	考えられる原因	対 処 方 法
ランプモニター(アカ)	点　灯	ランプが破損している	ランプを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください
		ランプコネクタがはずれている	コネクタを接続して点検スイッチを押してください
		蓄電池の充電不足	AC100Vを通電してください ランプモニターが消灯すればランプは正常です
	点　滅	ランプ寿命	ランプを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください
充電モニター(ミドリ)	消　灯	蓄電池コネクタがはずれている	コネクタを接続してください
		電源線が接続されていない	電源線を正しく接続してください
	点　滅	蓄電池の寿命	新しい蓄電池と交換してください
		蓄電池の充電不足	24時間以上充電した後に電源を10秒以上OFFして再投入してください

注1)　ランプ交換後、リセットスイッチを2秒以上押さないと正常状態に復帰しません。

注2)　点検の際には、24時間以上充電した後、20分以上電源を遮断してください。点検の結果、充電モニターが点滅した場合は必ず蓄電池を交換してください。また、次の場合には点滅動作がリセットされますのでご注意ください。
①蓄電池をはずしたとき。
②電源を10秒以上OFFして再投入した場合。

注3)　器具取り付け後および電源遮断時に充電モニターが点滅する場合があります。点滅した場合は、24時間以上充電した後、電源を10秒以上OFFして再投入してください。

注4)　蓄電池交換の際は、通電状態で交換してください。電源遮断状態で交換すると、モニターの点滅が停止しない場合があります。

■仕様

形　名		FBK-44370-PS
平常時	電源	交流100V　50Hzまたは60Hz
	入力電流 消費電力	0.37A 19.5W
	光源	CF220T4ENL×4
非常時	電源	密閉形Ni-Cd 蓄電池　4NR-AC-TL　(4.8V　600mAh)×2
	光源	CF220T4ENL×4
質量(表示板込)		10.5Kg

(注) 点灯直後の入力電流、消費電力は若干高くなります。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危傷と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

器具の取り付けは、質量の耐える所に、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。取り付けに不備がありますと器具落下、火災の原因となります。 取り付け重量	この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、取扱説明書に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。 断熱施工	この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。 腐食性ガス
器具を改造したり、部品の追加、ランプおよび蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。 改造	この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。 湿度	この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと、器具落下の原因となります。 振動の激しい場所
電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。 電源線接続	アース工事は、電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 (D種(第三種)接地工事) アース工事	この器具は、屋内専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。 風

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具は、周囲温度5℃~35℃以外では使用しないでください。高温で使用しますと火災の原因となります。 温度	表示された電源電圧(AC100V±6%)以外で使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、点灯装置の短寿命、火災の原因となります。 電源電圧	この器具は、屋内専用です。屋外で間違えて使用しますと、湿気、水気の侵入により、絶縁不良、感電の原因となります。 屋外

⚠ お願い

電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。 この器具は蓄電地を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池のコネクタをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。	内蔵蓄電池は、ご使用前に24時間以上充電してからお使いください。 電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。	工事完了から、使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで器具を放置し、その後、蓄電池のコネクタをはずし、保存してください。

お客様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

ランプ交換やお手入れの際は、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってからお取り替えください。感電の原因となります。 電源を切って	ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書とおりの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。 ランプ交換	この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、指定のものをご使用ください。蓄電池の分解およびリード線の切断は短絡、感電の原因となります。交換した蓄電池は捨てずに、お買い求め先にお渡しください。 適合電池

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。内蔵の部品によっては、器具寿命の前に交換するか定期的に交換してください。 寿命	点灯中および消灯直後はランプや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 ランプ高温

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ お願い

ランプの端部が黒ずんだり、暗くなったときは、ランプを早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってからお取り替えください。ランプ交換後、電源を通電し、必ずリセットスイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。	3ヶ月に1回は破損、変形などの外観点検を行ってください。 6ヶ月に1回はランプの明るさ、非常点灯持続時間、切替動作などの機能点検を行ってください。	非常点灯持続時間(24時間以上充電後、非常点灯20分以上)が20分以下の場合は、内蔵の蓄電池を交換してください。 点検終了後、点検結果を付属の点検カードに記入してください。

お手入れのしかた

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

器具のお手入れは、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってから行ってください。器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。 ⚠ 注意	ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。 禁止	金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷ついたり、腐食の原因となります。 禁止

Ni-Cd この製品には、ニカド蓄電池を使用しております。ニカド蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具･HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
  その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
(6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- ご転居されたり、贈答品などで販売店(工事店)に修理のご相談ができない場合
  『東芝家電修理ご相談センター』 **0120 - 1048 - 41 (フリーダイヤル)**
- 新製品などの商品選び、お取扱い･お手入れ方法などのご相談
  『東芝家電ご相談センター』 **0120 - 1048 - 86 (フリーダイヤル)**
  携帯電話･PHSからのご利用は **(03) - 3426 - 1048 (有料)**

※ フリーダイヤルは、携帯電話･PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店) またはお近くの東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 〒410-0312 静岡県沼津市原2608番地58 TEL(055)968−8401 FAX(055)968−8399

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 (001E573)B